

台風16号災害から復旧 中洲橋ついに完成



1/復旧工事が完了した中洲橋と橋の開放後、橋を歩いて渡る人々 2/工事完了の報告を受ける尾脇市長 3/中洲橋全景 4/台風災害時の様子

平成28年9月20日に通過した台風16号により被災した垂水市本城の「中洲橋」の災害復旧工事が完了し、10月31日午後2時に全面開放されました。復旧された橋は、長さ86・2m、橋梁全幅は6.7mから7.7mに、車道幅員は6.0mから6.5mに拡張し、車の離合がしやすくなりました。また橋脚も3本から2本になり、災害時に流木などが引っかかりにくいようになりました。

当日は、完成検査後、尾脇市長に工事完了の報告が行われ、橋が開放。開放後は早速、車両や歩行者が通行し、周辺地域に日常が戻りました。

進められる 住環境整備事業

道路改良等

中洲橋の災害復旧工事完了に伴い、平成28年台風16号による市が請け負う災害復旧工事は、全て完了しました。市民の皆様のご理解とご協力、誠にありがとうございました。垂水市では今後も市民の皆様様の生活を快適にするため、住環境整備が進められます。

垂水市文化会館前の市道中洲線においては、道路改良工事が行われており、車・歩道、排水路などの整備が進められています。経年による舗装の痛みや歩道の段差解消、排水路の改修により道路冠水の軽減などの改善が図られます。

また、垂水中央病院前の市道9号線では、今年度、道路改良工事の詳細設計が行われ

ています。車道や歩道、排水路などの整備を行い、車・歩道の段差解消や、歩道の拡幅、道路冠水の軽減など住環境の改善が図られます。

工事期間に伴う道路規制等によりご迷惑をお掛けしますが、今後とも市民の皆様のご理解とご協力のほど、よろしく申し上げます。



▲市道中洲線の工事の様子



▲左/工事される前の歩道、右/工事後のきれいに整備された歩道



▲今年度詳細設計を行っている市道9号線